

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成19年8月29日

作成者：(特非)九州バイオマスフォーラム

	【施設名称】 日田市バイオマス資源化センター
	【事業主体】 日田市
	【所在地】 日田市大字三和1906番地
	【運転開始年】 平成18年4月～
原材料および利用量	豚ふん尿50t/日、生ゴミ24t/日、集排汚泥6t/日、焼酎カス7t/日
生産物（種類）	メタン発酵にともなう堆肥、液肥
利用方法	堆肥化、肥料化、発電
導入目的・経緯	ゴミ処理コスト低減、家畜排泄物の適正処理、市民環境意識の高揚等
設備仕様	メタン発酵槽1,900m ³ 、発電設備(脱硫装置・ガスホルダー330m ³)、堆肥化設備等
稼働状況	日量約50t処理
経済性関連データ	初期投資額9億円(国庫4億5千万円、県費9千万円、市費3億6千万円)
導入効果	地球温暖化対策、ゴミ処理コスト低減、農業振興、雇用効果など
運営上の課題	ゴミ分別収集の徹底
備考・参考資料	